

寺ヶ池公園リニューアル計画（概要版）

1. 計画の背景と目的

寺ヶ池公園は本市唯一の総合公園として、寺ヶ池を中心とした自然豊かな環境を有しており、市民の憩いの場や多世代交流の拠点として重要な役割を有しています。また令和3年には寺ヶ池・寺ヶ池水路が「世界かんがい施設遺産」に登録され、歴史・文化に親しむ場所としても楽しまれています。しかし、公園開設から60年が経過していることから、公園施設の老朽化が進み、周辺環境やニーズの変化に対応した、リニューアルが必要となっています。

本計画は、寺ヶ池公園の自然や文化の魅力を向上させ、子どもを中心に様々な人が楽しめる公園を目指し、今後の時代を見据えた施設の更新や再整備等を行うリニューアル計画を策定するものです。

2. 対象エリア

開設エリア 12.0ha ※ スポーツ施設エリアは含まない

3. 寺ヶ池公園を取り巻く現状

(1) 駐車場

常設駐車場が3箇所あるほか、プール開設時やこども園の送り迎え時に使用される臨時駐車場が2箇所あります。

四季の広場前（41台）



(2) 赤峰市民広場（令和6年6月末 廃止）

寺ヶ池公園の近隣に位置する赤峰市民広場は産業用地として整備されるため、令和6年6月末に廃止され、この広場が担ってきた公園機能の代替地として寺ヶ池公園に求められる役割も多様化しています。



4. アンケート・ヒアリングの実施

(1) 市民・利用者アンケート

目的：利用形態や公園の課題、今後の利活用に係る需要・意見を把握するため

実施アンケート

- ・市民アンケート（回答数 1,094件）
- ・小学生保護者アンケート（回答数 75件）
- ・小学生アンケート（回答数 98件）
- ・保育施設保護者アンケート（回答数 23件）

(2) 管理団体・関連団体ヒアリング

目的：公園の利用実態や今後の利活用に係る需要・意見を把握するため

対象団体

- ・シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
- ・公益財団法人河内長野市公園緑化協会
- ・小山田小学校区連自治会
- ・小山田まちづくり会
- ・花づくりボランティア“花の精”
- ・千代田台こども園

5. 公園の課題

【課題1】公園のポテンシャルを活用した整備

寺ヶ池は世界かんがい施設遺産であるが、樹木によって眺望することが困難であり、水景を十分に活用できていません。

【課題2】安心感・安全性の確保

大木化により園路の見通しが悪く、また遊具やトイレ、園路等の老朽化が激しい状況です。公園利用者が安心して利用できるよう、公園全体として安心感・安全性の確保が必要です。

【課題3】子どもの遊び場の整備

遊具は設置されているものの、老朽化に加え、機能が重複しているため、遊具に対する不満が高まっています。また、赤峰市民広場の廃止に伴い、寺ヶ池公園に対する子どもの遊び場の需要が高まっています。

【課題4】駐車場の増設・拡充

四季の広場の駐車場について、イベント時や休日に満車となることが多く、また、公園全体の利活用促進のためには、公園全体で駐車場の増設・拡充が必要です。

【課題5】赤峰市民広場の機能・防災機能の確保

大きなすべり台、地域の健康拠点としての機能など、赤峰市民広場が担っていた役割を寺ヶ池公園が担う必要があります。また、広域避難場所である寺ヶ池公園において、災害の危険から生命を守ることができるよう、防災機能を強化する必要があります。

寺ヶ池公園リニューアル計画（概要版）

6. 全体コンセプトと基本方針

きてみてあそんで みんなが楽しむ寺ヶ池公園

方針①憩いの場、交流の場の創出

- ◆ インクルーシブの視点を取り入れ、誰もが自由な遊び方ができ、イベントをより快適に実施し楽しめる空間を創出するとともに、防犯面にも配慮した安全・安心に利用できる空間づくりを目指します。

方針②子どもの遊び場の創出

- ◆ 既存の遊具の機能を見直しながら、乳幼児・児童の年齢別に新たな機能を持った遊具を設置するとともに、大人が見守る空間を確保し、快適な空間づくりを目指します。

方針③市民の健康づくりの機会の創出

- ◆ 園路を利用したウォーキングルート及びランニングルートの設定など、自然を楽しみながら健康づくりができる空間づくりを目指します。

方針④人と自然がつながる空間の創出

- ◆ みどりの中で安らぎを感じながら、世界かんがい施設遺産である寺ヶ池の水景が楽しめる空間づくりを目指します。

方針⑤防災機能の整備

- ◆ 市内で唯一の広域避難所として、オープンスペースの確保や防災関連設備の充実を図り、防災力の向上を目指します。

7. ゾーニング

方針②子どもの遊び場の創出

- ・ 特に高学年が遊べるような空間を整備
- ・ 自由な遊び方ができる広場スペースは維持

方針④人と自然がつながる空間の創出

- ・ 寺ヶ池の水景が楽しめる空間を整備

方針⑤防災機能の整備

- ・ 災害時の避難場所としてオープンスペースを整備

方針②子どもの遊び場の創出

- ・ 多様な年齢の子供達が遊べるよう、高低差など自然の地形を生かした空間を整備
- ・ 四季の広場でイベント実施時に幼児も遊べる遊具スペースを整備

方針②子どもの遊び場の創出

- ・ 現状の雰囲気維持しつつ、老朽化した遊具を更新

- ・ 幼児が遊べるような空間を整備
- ・ このエリアへのアクセスを考慮し、駐車場を整備

方針③市民の健康づくりの機会の創出

- ・ 市民の健康に寄与するよう、現状の健康遊具は維持しつつ、ウォーキング・ランニングしやすい園路を整備
- ・ 駐車場を整備

方針④人と自然がつながる空間の創出

- ・ 自然と調和するよう和風な雰囲気を残しつつ、草木や植物が楽しめる空間を整備

方針①憩いの場、交流の場の創出

- ・ 自由な遊び方ができ、イベントをより快適に実施できるよう、広場スペースや水に親しめる新たなスポットを整備
- ・ フェリス橋の東側にはベンチが並び、イベント利用できる空間を整備
- ・ 駐車場を拡張



寺ヶ池公園リニューアル計画（概要版）

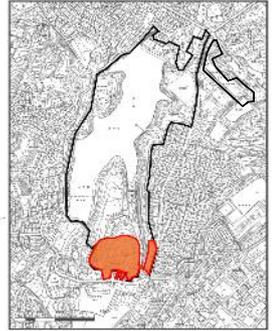
8. 整備方針（1/3）

四季の広場付近

遊具等を設置し、子どもの遊び場としての充実を図る（イメージ③）
水に親しめる遊び場として充実を図る（イメージ④）

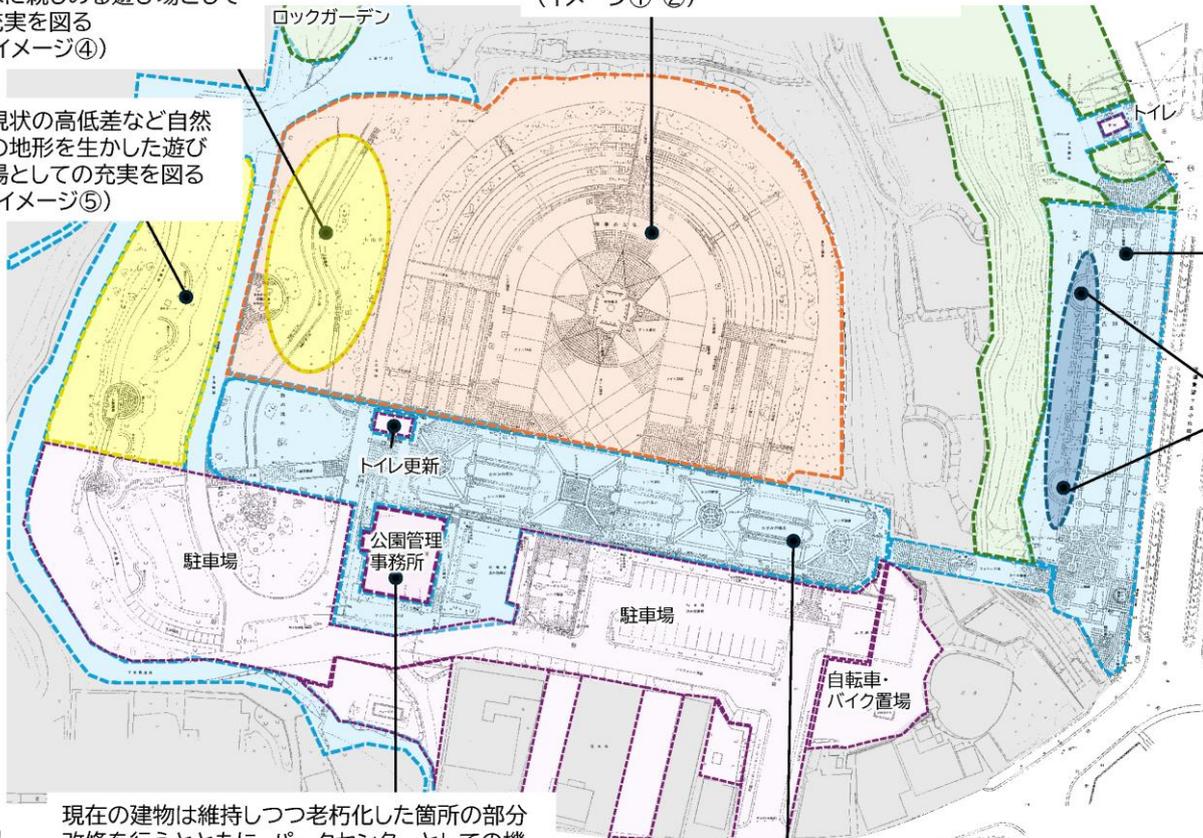
現状の高低差など自然の地形を生かした遊び場としての充実を図る（イメージ⑤）

様々なイベントや遊びの中心となる広い空間を創出しつつ、広域避難所として大人数が避難できる空間として活用する（イメージ①・②）



キッチンカーなどイベント利用できる空間の創出を図る

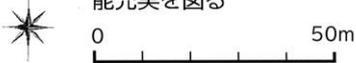
木立の中の休憩場所として既存のベンチを維持する



凡例	
	広場
	遊具など
	便益・管理施設
	休養施設
	園路
	樹林
	未開設エリア

現在の建物は維持しつつ老朽化した箇所の部分改修を行うとともに、パークセンターとしての機能充実を図る

植栽や修景施設などを整理し、メイン広場への玄関口としてふさわしい景観づくりを図る



以下のイメージは、アンケート結果で多くの票数が集まったものです。

【イメージ①】
自由な使い方ができる芝生広場



【イメージ②】
屋根付きの広場



【イメージ③】
やわらかいトランポリン



【イメージ④】
子どもが入って遊べる親水広場



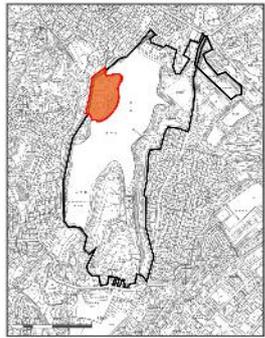
【イメージ⑤】
大きなすべり台



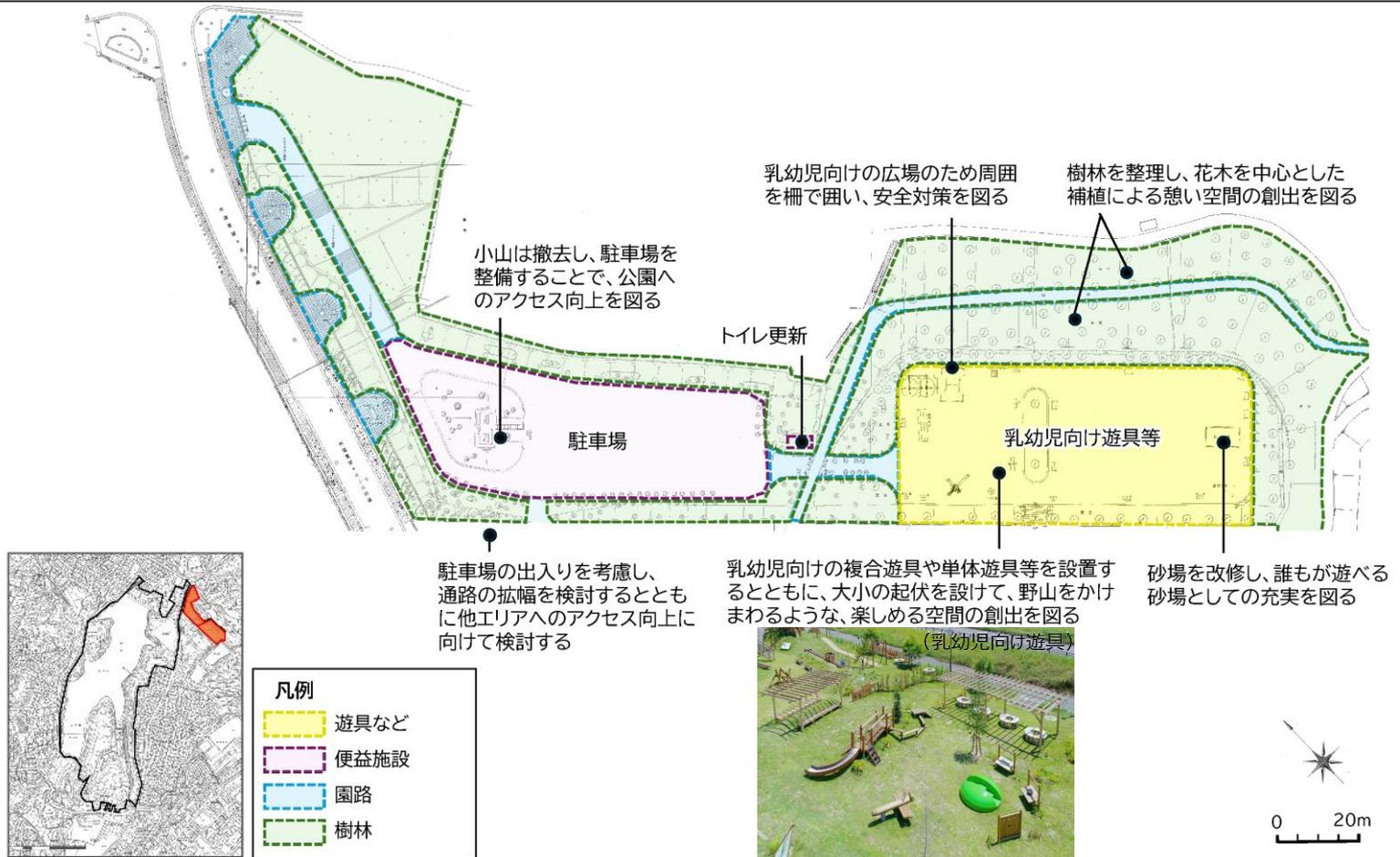
寺ヶ池公園リニューアル計画（概要版）

8. 整備方針（2/3）

弁天山広場



こども園前広場



寺ヶ池公園リニューアル計画（概要版）

8. 整備方針（3/3）

その他エリアの整備方針

アイリスの谷	<ul style="list-style-type: none"> 現状のしょうぶ園・八つ橋は維持し、色々な花菖蒲の景色を楽しめる空間の創出を図ります。 花木を中心とした補植を行い、園内で唯一の水辺との距離が近いこのエリアで水生生物など自然を感じられる空間の創出を図ります。
ロックガーデン	<ul style="list-style-type: none"> 四季の広場とアイリスの谷をつなぐエリアとして、花や緑など四季を楽しめる空間の創出を図ります。
東側広場	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した遊具や四阿を更新し、新たに健康遊具を設置し、健康づくりの場として充実を図ります。
プール横広場	<ul style="list-style-type: none"> 園内へのアクセス向上のため新たに駐車場を整備します。
健康遊具広場	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した健康遊具を更新し、利用しやすい空間の創出を図ります。
マンション横広場	<ul style="list-style-type: none"> マンション横の公園で街区公園要素が強く、他エリアと違った遊びができる空間の創出を図ります。 ボール遊びができる広場は現状のまま維持します。
北堤	<ul style="list-style-type: none"> 寺ヶ池を眺められる空間は現状のまま維持します。 寺ヶ池の歴史を伝える記念碑は現状のまま維持し、子どもの学びにつなげます。 樹木を整理し、水景を楽しめる空間の創出を図ります。
西側広場	<ul style="list-style-type: none"> 現状の四阿は維持しつつ、新たに健康遊具を設置し、憩いの空間の創出を図ります。 ウォーキング・ランニングしている方の休憩場所として既存ベンチを維持します。 老朽化した健康器具を更新し、利用しやすい空間の創出を図ります。
園路	<ul style="list-style-type: none"> 公園内には寺ヶ池を囲む約2.4kmの園路が通っており、花や緑を楽しみながらウォーキングやランニングなどに利用されています。しかしながら、整備後かなりの年数が経過し、舗装の劣化や根上がりなどの課題があるため、舗装の剥がれや段差を解消するなど、誰もが安全かつ快適に利用できるような歩行空間の創出を図ります。その中で、自然が生み出す風景や木陰、地形状況を踏まえ、より市民の皆様の健康増進に寄与できるウォーキング・ランニングルートの設定も検討していきます。
樹木	<ul style="list-style-type: none"> 公園の樹木は、季節や癒しを感じる景観の形成に寄与しているとともに、貴重な生態系を保全する重要な役割を果たしています。既存の生態系に影響を及ぼさないよう十分に配慮したうえで、快適性や防犯性の確保に取り組むとともに、古木化・大木化により危険な樹木については伐採などにより安全確保に努めます。そのうえで、今ある樹木の持つ機能を継続的に発揮できるように適正かつ効率的な維持管理を行っていきます。

9. スケジュール（予定）

概ね10年以内で、ワークショップ等により市民の意見を聞きながら設計・工事を進めていきます。

項目	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
ワークショップ等	■					■	■	■	➔		
整備工事											
四季の広場付近		➔									
こども園前広場			➔								
弁天山広場					➔						
その他エリア 園路等				➔							